

**平成20年度「JAPANブランド育成支援事業」採択案件一覧表
(戦略策定支援事業)**

NO.	都道府県名	事業実施者	事業概要
1	栃木県	小山商工会議所 TEL:0285-22-0253	【結城紬デニムプロジェクト】 活用する地域資源：結城紬 糸紡ぎ・拵括り・機織りの三つの工程が国の重要無形文化財に指定されている結城紬とデニムを組み合わせることで、現代の生活への展開可能性を探るべく、市場開発・商品開発を行い、結城紬ブランドとしての展開をはかる。
2	東京都	東京商工会議所 TEL:03-3283-7748	【リビング デザイン・東京】 活用する地域資源：家具 東京の家具産業が有する、江戸指物に代表されるような伝統技術を継承する側面と、全ての種類の家具や樹種を取り扱えるという技術力、世界最大消費地にあるというメリットを活かし、「日本の首都東京から生まれた家具」というブランドやライフスタイルのイメージの確立と、デザイン・品質の一層の向上による競争力の確立を目指す。
3	福井県	武生商工会議所 TEL:0778-23-2020	【本物志向 越前打刃物「禅 ブレード」】 活用する地域資源：刃物 700余年の歴史を持つ「越前打刃物」は昭和54年1月全国打刃物業界では初めて伝統的工芸品として国の指定を受けた。熟練工によるハンドメイドで高価格、高性能、高品質なイメージの定着と、中国富裕層や欧州、北米市場へ販路を拡大するべく国内外の市場調査等を通じ、戦略策定を図る。
4	徳島県	徳島県商工会連合会 TEL:088-623-2014	【木工と藍と食文化 徳島の伝統を活用したブランド創出】 活用する地域資源：伝統的木工品「遊山箱」、藍染 平成19年度に実施した藍染の活用に関する調査研究より食器類と健康志向に対応したカーテンや内装材が最もニーズが高いため、その結果をふまえ徳島の誇る食器である遊山箱と藍染を融合させた新商品開発と伝統的食文化・食育の要素を加味した総合的な戦略を策定する。本事業では新商品開発のための基礎情報収集と計画策定、事業継続を実現するための実行組織の編成を行う。
5	愛媛県	越智商工会 TEL:0893-53-3853	【菊間瓦ブランド・いぶし銀プロジェクト】 活用する地域資源：菊間瓦 鎌倉時代より発展してきた菊間瓦の格調高い美しさは全国でも高い評価を受けているものの、粘土瓦の主要な産地に比較すると全国でシェア4位というものの2.5%に留まり遅れをとっている。本事業により歴史の中で培った技術や感性を集中し、和型瓦の持っている合理性・機能性・経済性の強みを活かし、高級建築資材としての用途開発とともに、商品開発ニーズを踏まえた関連業界との交流・ネットワーク化を図り、世界的な瓦製品の生産としてブランド普及を図る。
6	高知県	高知商工会議所 TEL:088-875-1176	【natural jewelry「SeaProof」海外展開プロジェクト】 活用する地域資源：宝石珊瑚 宝石珊瑚の全国屈指の原材料保有量とその加工技術の蓄積、および世界屈指のサーフスポットを有することを背景に、サーファー向け珊瑚アクセサリーブランド「SeaProof」の国内外でのブランド力強化を目指し、市場調査と戦略策定を行う。
7	鹿児島県	鹿児島県商工会連合会 TEL:099-226-3773	【“薩摩の食”ジャパンブランド化事業】 活用する地域資源：焼酎、鹿児島牛、鹿児島豚、さつまあげ、ミネラルウォーターなど 食品については、農業産出額が全国2位、食品製造業の出荷額が全国14位であり、当県が優位性を持つ基幹産業である。特色ある「薩摩の食」を世界へ発信していくために価格設定や味、ネーミングやパッケージなど商品のあり方や流通経路の選定、輸出業務に関する研究、生産や出荷体制など既存商品の改良・新商品開発のための基礎情報収集・計画策定・実行組織の編成を行う。航空便が定期またはチャーター就航している中国上海・香港・台湾地区をターゲットとして戦略策定を行う。
8	沖縄県	金武町商工会 TEL:098-968-2491	【琉球紅茶Japanブランド形成支援プロジェクト】 活用する地域資源：紅茶 平成19年度に行政が「琉球紅茶産地化事業」を実施したことにより、町内若手農業者を中心に行政と一体となって取り組む機運があり、国産紅茶トップブランドとしての「琉球紅茶」開発を目指す産地化に取り組んでいる。本事業では「琉球紅茶」のブランドコンセプトの形成に努め、高付加価値商品開発を目指し、流通経路の確立や独自ブランド形成のための調査研究を実施するとともに紅茶染め、豚の紅茶スモーク、紅茶の煮玉子など紅茶からの産業連鎖についても検討していく。
9	沖縄県	西原町商工会 TEL:098-945-6136	【「黒糖がんにゅーむら西原」ブランド開発支援プロジェクト】 活用する地域資源：黒糖 これまで、商工会で実施してきた事業を通じて歴史や文化より醸成された黒糖製品は一定の評価はあるものの、本来の味の良さと栄養価、健康食品としての知名度はまだ低く課題がある。その課題を解決するためにデザイン力を強化するとともに栄養分析を行い商品価値を高める。国内外の物産展等への出展を通じて「沖縄黒糖」のブランドコンセプトづくりのために「黒糖がんにゅーむら西原」ブランド開発支援プロジェクトを実施する。